

視察報告書

委員会名	市民福祉常任委員会					
視察日時	平成28年4月27日(水) 9時30分～11時00分					
視察先	市町村名	北広島市	人口	59,140人	面積	119.05k㎡
視察項目	地域子育て支援センター「あいあい」に関する調査					
視察参加議員	井上健作、松月よし子、浦伊三次、三嶋俊蔵、黒田公二、徳安達成					
視察随員職員	西正文					

視察概要

北広島市は、商業都市札幌市に隣接し、千歳空港や小樽港にも近接し交通の便に優れていることから工業団地が造成され、多くの企業が生産・流通施設を置く人口約6万人の中都市である。

北広島市の地域子育て支援センターは、平成12年に市内3か所で開設された。平成22年にはセンター型(常設1か所、保育園併設2か所)となり、中心拠点である「あいあい」は、庁舎近くの民間ビルを賃貸して設置されている。延床面積は294㎡(活動室89.5㎡、事務室33.75㎡、相談コーナー26㎡、授乳スペース10.5㎡、ランチ室20.25㎡)である。

「あいあい」では、0歳から就学前の子どもやその保護者を対象に事業展開しており、子育て講座や子育て相談など特色ある事業が実施されている。

(シルバー子育てサポート事業)

「あいあい」で行われている特長的な事業として「シルバー子育てサポート事業」がある。この事業は60歳以上の市民ボランティアがサポーターとして、豊かな子育て経験を活かした子育て相談や昔遊びの伝承等を通して子育てを支援すると共に、サポーター自身の生きがいに繋げていくことを目的としている。

サポーターの平均年齢は70歳で、きたひろTVやHPでサポーターの募集を行っている。

(ファミリー・サポートセンター事業)

「あいあい」内では、平成19年から「様々な理由からこどもを預けたい人(利用会員)」の子育てを「こどもを預かりたい人(協力会員)」がサポートするファミリー・サポート事業が行われており、平成23年からはNPO法人北海道子育て支援ワーカーズに委託している。

利用会員は登録制で対象は0歳～小学校6年生までの保護者とし、協力会員は保育士・看護師資格を有する人や、サポーター講習会を受講した人の中からコーディネーターが適

正を判断して協力員として登録する。

利用会員は利用料金（30分300円）を支払い、保護者の病気時や緊急時の子どもの預かりや送迎などを協力会員が行う仕組みである。また、協力会員の自宅預かりも行われており、その際はコーディネーターが現地調査を行ない自宅預かりの適否を判断する。

事業は年中無休で行われ、利用会員からの「安心して仕事ができる」、「近くに知人がいないので、こうしたサポートは有難い」という声や、協力会員からの「やりがいがあって、元気がでる」など声が寄せられており、双方の立場の人から喜ばれている。

利用会員は516名で平成19年の100人から年々増加しており、協力会員も74名で平成19年の37人から徐々に増加していることから、事業が市民に受け入れられたと判断している。

平成28年度からは、1歳未満児を対象に利用無料券4時間分（30分×8枚）の支給を行い、また、ひとり親家庭の世帯、住民税非課税世帯、生活保護世帯には1月に1万円まで利用料の2分の1の助成を開始し、更なる子育て支援の充実が図られている。

意見（本市にとって活用すべき事項・課題など）

北広島市の取り組みは、広報や民生委員、町内会回覧等によって広く市民に周知されている。本市においても人口減少が徐々に進んでいるが、市民が子育てしやすい環境をつくることは、定住化促進に大きく寄与するものと考えられる。糸島市の子育て支援の更なる充実のために、北広島市の事例を大いに参考にすべきである。